

# 『防災』について学ぼう!

～その時君は何ができるか～



10月7日 保健LHR

学校薬剤師 甲加和歌子先生 講演会を実施

内容: 災害時の対応

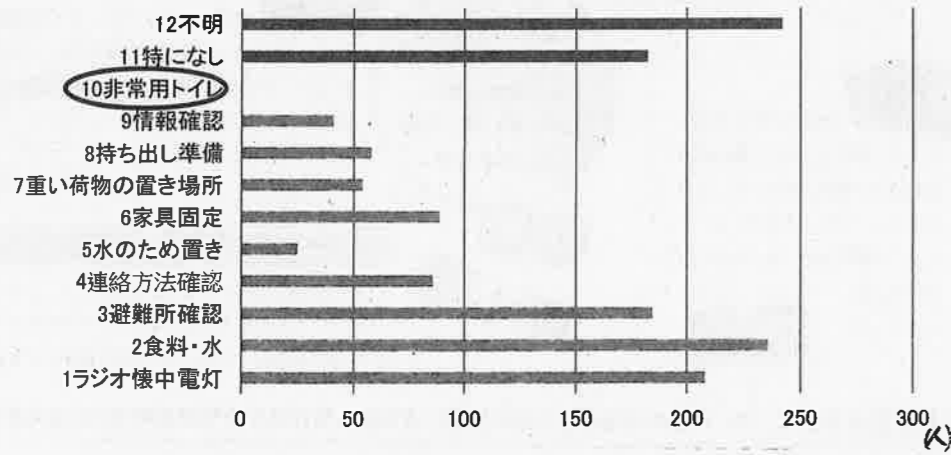
1 消毒薬の作り方 2 非常時持ち出し品

3 ボランティア活動の心得

4 健康管理「エコミークラス症候群」・心の健康

非常時のトイレは大切。…でも本校の実態は…

Q6 大地震に備えてあなたの家で、実施している準備・対策は何ですか?



令和元年6月全校実施アンケートより

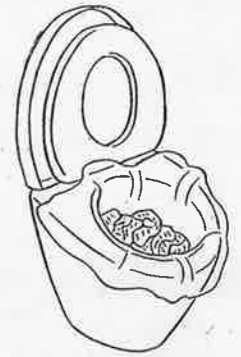


## 簡易トイレの作り方

★排水できない既存トイレ

(材料) ポリ袋・新聞紙

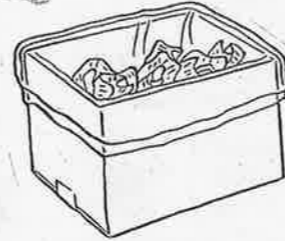
便座を上げ、ポリ袋をすぼりおおい  
ます。2枚目のポリ袋を便座の上から  
かぶせ、細かく砕いた新聞紙を  
重ねます。



★持ち運べる簡易トイレ

(材料) 大型バケツ 段ボール箱  
ポリ袋 新聞紙

大型バケツあるいは段ボール  
箱の内側にポリ袋を二重  
にかぶせ細かく砕いた  
新聞紙を入れます。使用後  
は、上のポリ袋を所定の場所  
に捨てます。



## 講演後の感想

- ・防災には、事前の準備が大切だということと、近所の人と声を掛け合い協力することが大切だと学びました。
- ・災害が発生した時は、健康管理だけでなく、心の健康にも配慮が必要なのがありました。今日の講演を聴いて、災害対策について考えが変わった気がします。
- ・災害はいつ起こるかわかりません。真備の時のように夜に水が浸水してくることもあるので、事前の準備が大切だと思います。また、自分の命は自分で守ることは大前提なので、独断行動をしないようにしたいです。そして、必ず来ると言われている南海トラフでは、今回の事を生かしていきたいです。
- ・今まで『防災』について家族と話し合ったことがないし、家では、何の対策もしていないので、今日家に帰り親に話して対策をしていこうと思いました。
- ・とてもためになりました。もうすぐ地震が来るとも言われているし、今年の豪雨もあり、災害は人ごとではなくなっています。できることから防災対策をしていきたいです。
- ・『災害は突然起こるもの』と頭の中では、理解していたが、心のどこかでは起きないと思っていました。しかし、今年の西日本豪雨災害では、近くの真備町が災害に遭いました。自宅が高梁川の近くにあるので、『危険』を改めて認識しました。

